

スタートアップを引きつける、山梨県の 3 つの魅力

スタートアップと山梨をゆるくつなげるメディア『[LOOSEN UP YAMANASHI](#)』では、「スタートアップ支援ってどうあるべきなんだろう？」をテーマに[連載記事](#)を展開しています。今回は、(株)ジザイエ代表取締役の中川純希氏に、「なぜ、山梨で活動するのか？」について語っていただきました。

「つながり」の質・速さは山梨県ならではの魅力

スタートアップ企業として山梨県に、『人』『思い』『土地』の 3 つの魅力を感じている」と言う中川氏。

「人」の魅力としては、県をはじめとする挑戦をつなぐハブとなる人の多さを挙げます。「挑戦者と支援者をブリッジしてくださる方がたくさんいることは他の地方自治体との圧倒的な違いです」。

「思い」の魅力は、商談にたどり着くまでのスピード感だと言います。「経営層が直接対応してくれるため、物事がスムーズに進む。スピードを重視するスタートアップにとって、このことは大きなメリットですね」。

モノづくりに適した実績や立地と高い将来性

中川さんが「土地」の魅力として挙げたのは、モノづくりの実績や地政学



中川純希氏 (写真右)

的な優位性。半導体産業をはじめとするモノづくりの素地がある山梨県は、製造拠点を開設するのに適していると言います。また、首都圏からのアクセスの良さや、リニア中央新幹線の開通による将来性にも期待しているそう。

速く、質の高いつながりでスタートアップの成長を後押しする山梨県。「すべての人が時空を超えて働ける世界へ」を掲げ、新産業創出を目指す中川さんが進める技術開発や、山梨県で事業展開することとなったきっかけについては[こちら](#)をご覧ください。

詳しい記事は
こちらから→



中川 純希 (なかがわ じゅんき) 氏
株式会社ジザイエ
代表取締役 CEO

東京大学で研究を重ね、高圧縮映像伝送技術を軸に、機械を自在に遠隔操作できる技術を開発。山梨県の資金調達サポート事業に採択され、県から直接出資を受ける。その後、甲府市が実施する市内企業とスタートアップ企業とのマッチング事業 (R7) に採択され、市内企業と共創を進める。

山梨県の様々な魅力をお届けする県公式のブランド情報発信サイト『ハイクオリティやまなし』はこちら
<https://hq.pref.yamanashi.jp/>



【主担当課】産業政策部 スタートアップ・経営支援課 (TEL 055-223-1544)

【発行】山梨県地域ブランド推進 CFT (クロス・ファンクショナル・チーム ※)

(事務局) 山梨県 新価値・地域創造推進局 新事業・地域ブランド課 TEL 055-223-1584

※ 組織の枠を超えた部局横断チームを編成し、相乗効果や新たな価値を生み出すブランドプロモーションに取り組んでいます